

地 域 の 皆 様 へ

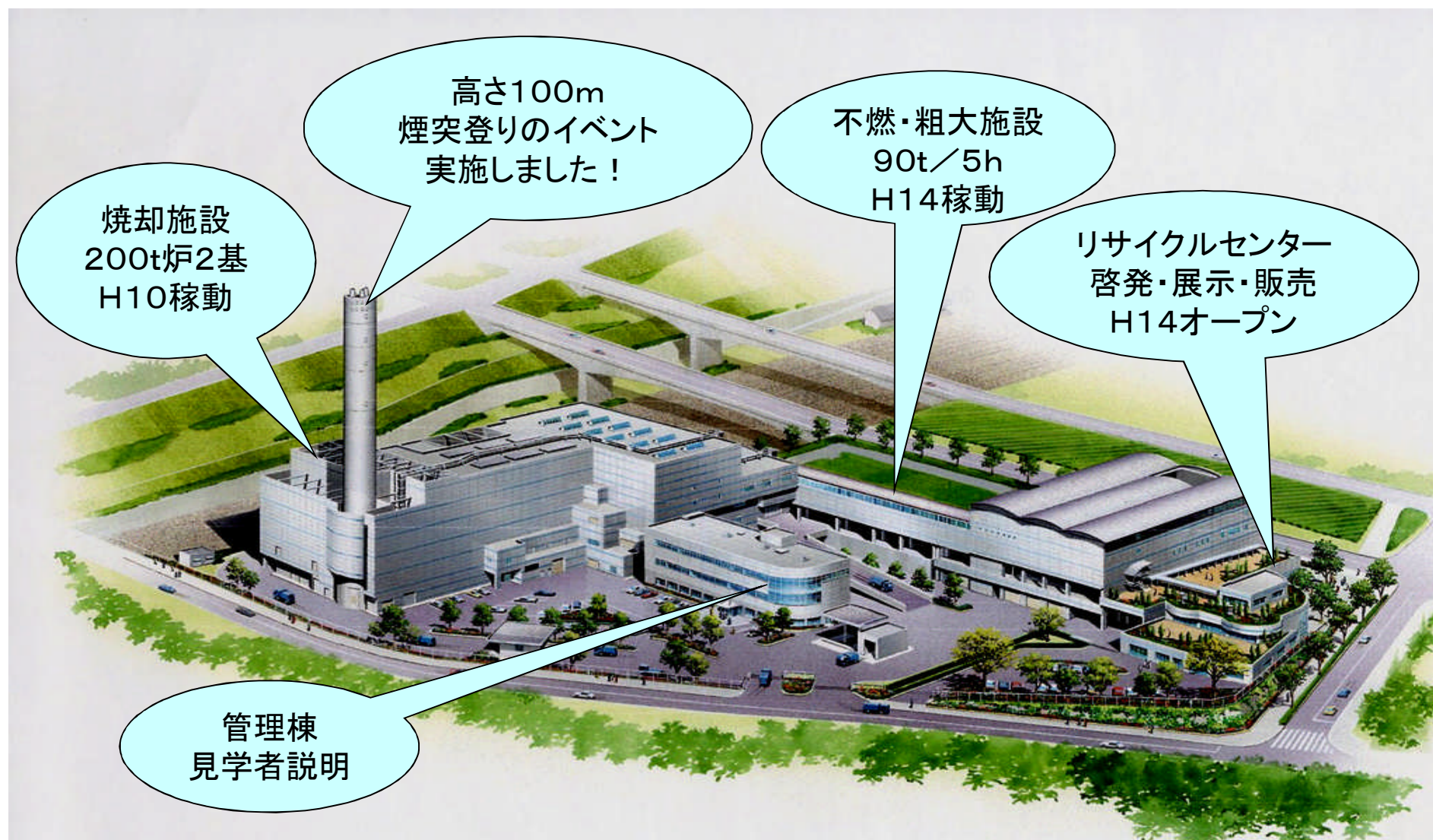
多摩ニュータウン環境組合
現在の取り組みと
ごみ処理対象区域の再編について

平成21年11月 多摩ニュータウン環境組合

I 多摩ニュータウン環境組合の現在の取り組み



施設の概要



環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場

➤ 具体的な取り組み状況



- ☆ ISO14001取得・更新
- ☆ 「たまかんニュース」
年2回 各86,000部発行
- ☆ 「たまかんニュース(地域版)」
近隣 約3,300軒
- ☆ 施設見学会の実施(20年度)
84団体 2,737人参加
- ☆ リサイクルの啓発(20年度)
307日開館 26,236人来館
- ☆ たまかんフェスタ
(21年10月25日実施)
来場者数 約1,000人

第2回たまかんフェスタ

10月25日に開催されました。

大松台小学校
エイサー



来年も計画しています！！

環境にやさしい多摩清掃工場 【環境測定情報】

(1) 排出ガス調査

年 度		平成20年度					
測定年月日		H20.5.16	H20.8.1	H20.9.19	H20.11.26	H21.1.22	H21.3.30
運転炉		2号炉	3号炉	2号炉	3号炉	2号炉	3号炉
ばいじん	濃 度 (g/m ³ _N)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
		規制基準値=0.08g/m ³ _N 自主規制運用値=0.02g/m ³ _N					
硫黄酸化物	濃 度 (ppm)	9	6	5	9	9	10
	排出量 (m ³ _N /h)	0.48	0.31	0.30	0.50	0.51	0.50
	規制基準値 (m ³ _N /h)	95.6	92.4	95.6	94.0	95.6	94.0
		自主規制運用値=20ppm					
窒素酸化物	濃 度 (ppm)	37	40	29	31	23	31
		規制基準値=250ppm 自主規制運用値=56ppm					
塩化水素	濃 度 (ppm)	10	4	13	11	15	10
		規制基準値=430ppm 自主規制運用値=25ppm					

1ng=10億分の1グラム

(2) 排出ガス中のダイオキシン類調査

単位: ng-TEQ/m³_N

測定日			H20.4.30	H20.7.25	H20.10.3	H21.1.6
測定項目	測定炉	排出基準				
ダイオキシン類	2号炉	法規制値: 1 自主規制値: 0.01	0.0019	休炉中	0.0015	休炉中
	3号炉		休炉中	0.0058	休炉中	0.0027

1pg=1兆分の1グラム

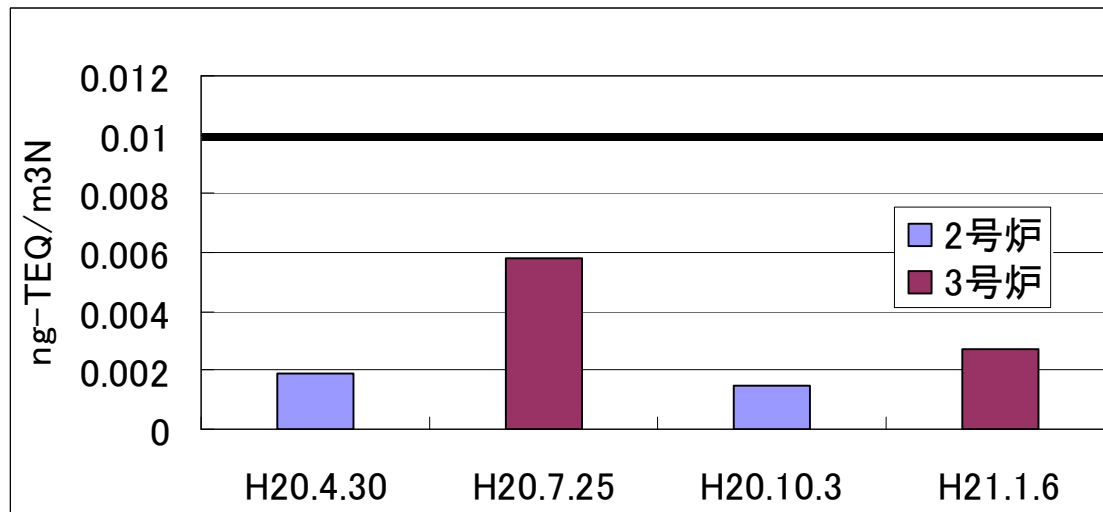
(3) 大気中のダイオキシン類調査

単位: pg-TEQ/m³

年 度	調査名等		調査地点				環境基準
			からきだの道	中坂公園	小山田緑地	別所公園	
平成20年度	稼動時	夏季調査	0.024	0.022	0.029	0.024	0.6
		冬季調査	0.020	0.022	0.027	0.019	
	年平均値(稼動時)		0.022	0.022	0.028	0.022	
	停止時調査		0.022	0.022	0.024	0.026	

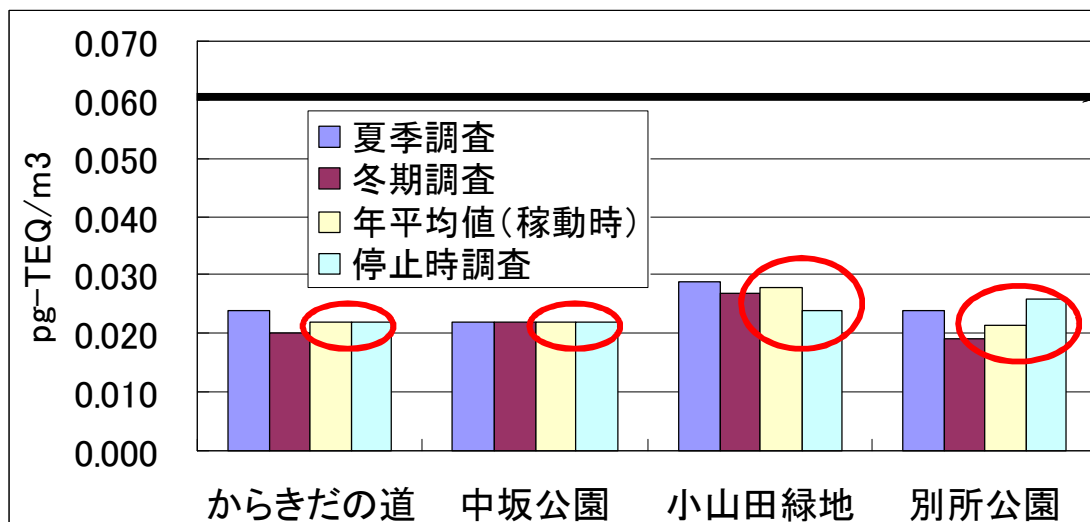
夏季調査: 平成20年7月22日～29日。冬季調査: 平成21年1月5日～12日。停止時: 平成21年1月25日～2月1日。

排出ガス中のダイオキシン類調査



排ガスの法規制値
 $1 \text{ ng} - \text{TEQ} / \text{m}^3_{\text{N}}$
 の**100分の1**

環境大気中のダイオキシン類調査



大気環境基準値
 $0.6 \text{ pg} - \text{TEQ} / \text{m}^3$
 の**10分の1**

年平均値(稼動時)と
 焼却炉の停止時で、
 調査結果はほぼ同じ

多摩ニュータウン環境組合は、
地域の皆様に信頼される安全な運営に
これからも努めます。

安
全
よ
し
!

法律に基づく毎年の
ボイラ安全弁封鎖試験



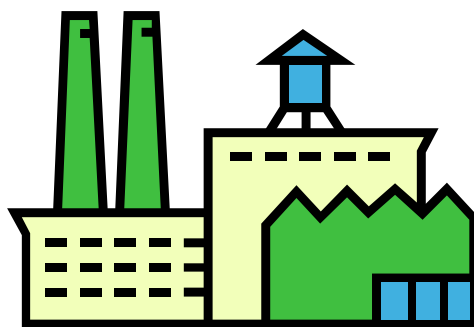


Ⅱ ごみ処理対象区域 の再編について

1. 多摩清掃工場の稼働状況
2. 八王子市処理区域の拡大における搬入計画
3. 構成3市及び組合について
4. 環境対策

1. 多摩清掃工場の稼働状況

平成5年
多摩ニュータウン環境組合設立



多摩清掃工場

日量600tの焼却能力
を持つ工場を予定

ごみの減量施策
資源物の分別収集

ごみ量の大幅な減少

平成9年度
計画処理能力の日量200t分
建設を凍結(中止)



平成10年3月 竣工
日量400tの焼却能力



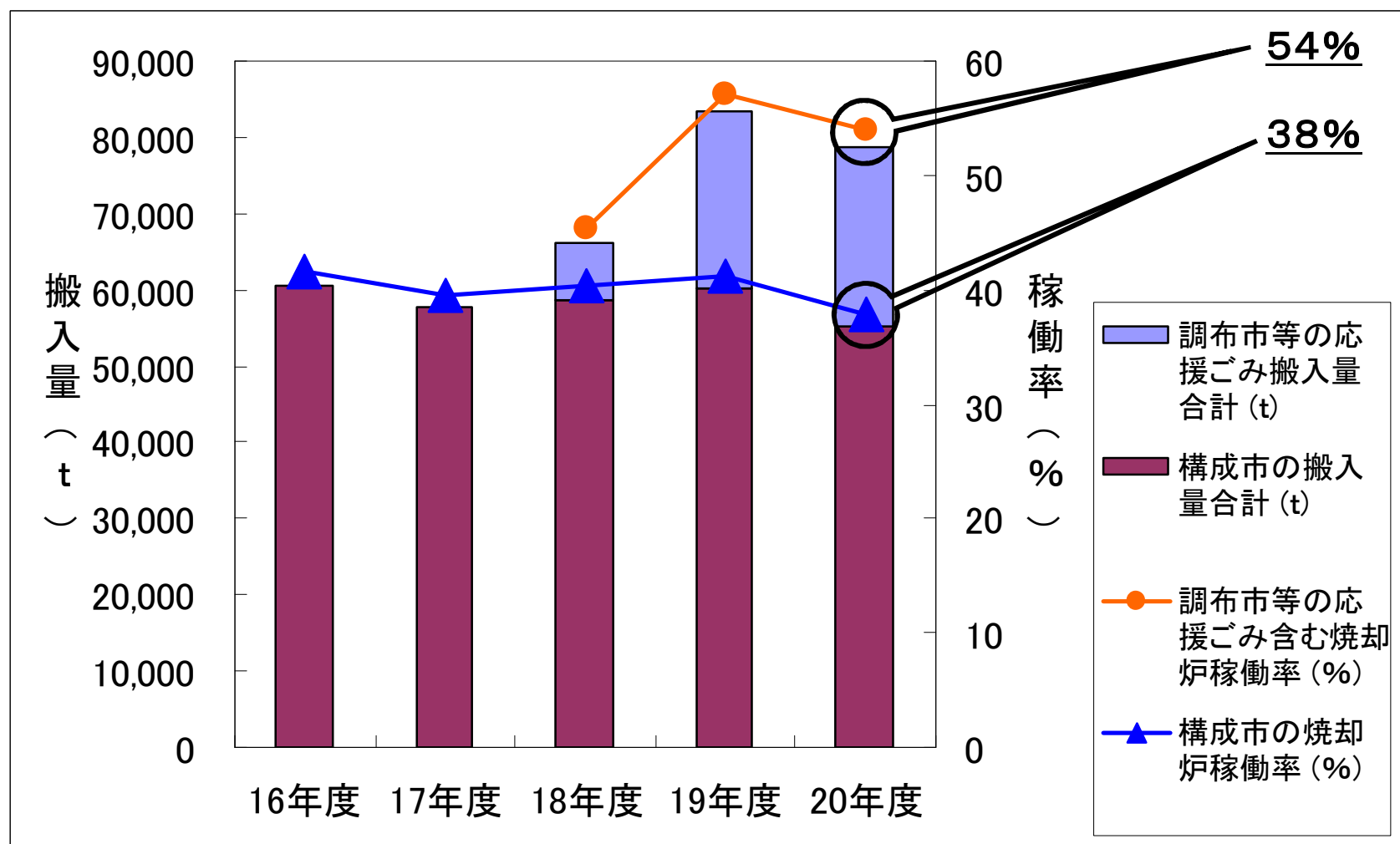
構成3市の収集区域のごみ量
と最大焼却能力を比較



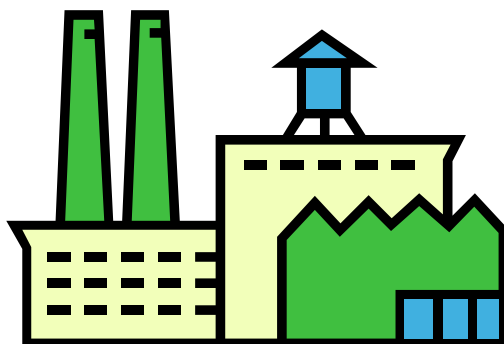
38%の稼働率
(平成20年度)

(1) 多摩清掃工場の搬入実績

・焼却炉の年間定格能力 $200\text{t} \times 2\text{炉} \times 365\text{日} = 146,000\text{t}$

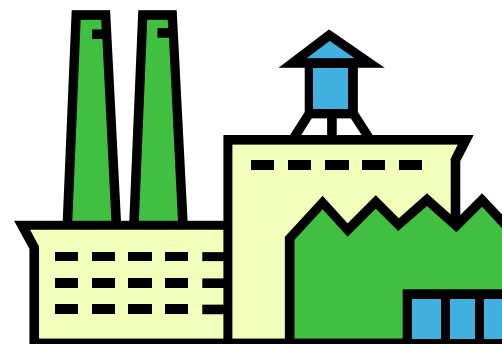


(2) 構成市の一部の清掃工場の 老朽化による建替え時期の逼迫



八王子市館清掃工場

平成22年10月頃運転停止予定
昭和56年4月に稼働
⇒ **28年経過**
処理能力: 日量300t



町田市清掃工場

ごみ処理基本計画を策定中
昭和57年5月に稼働
⇒ **27年経過**
処理能力: 日量626t



(3) 中期経営計画における

ごみ処理対象区域再編の意義

- ☆ 構成3市間でのごみ処理の広域連携の強化
- ☆ 多摩清掃工場の安定稼動

中期経営計画ではそのための施策として、
八王子市・町田市における多摩清掃工場の
ごみ処理対象区域の再編を計画

具体的には・・・

最初に

八王子市の受け入れを実施

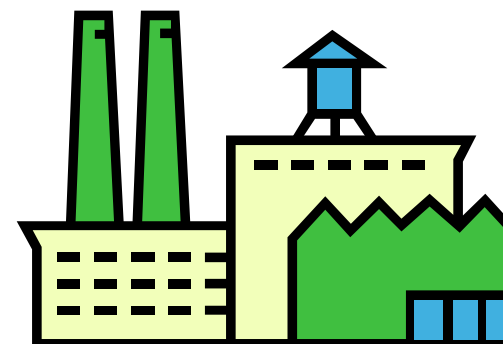
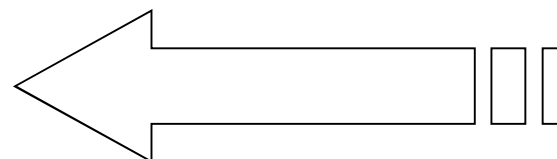
次に

町田市のごみ処理基本計画が
策定されたあと受け入れを実施予定

2. 八王子市処理区域の 拡大における搬入計画



多摩清掃工場



八王子市館清掃工場

平成22年10月頃
八王子市館清掃工場
停止予定

館清掃工場で焼却処理していた家庭系可燃ごみ
約3万1千tのうちの1万2千t分を多摩清掃工場へ搬入

八王子市からの搬入計画

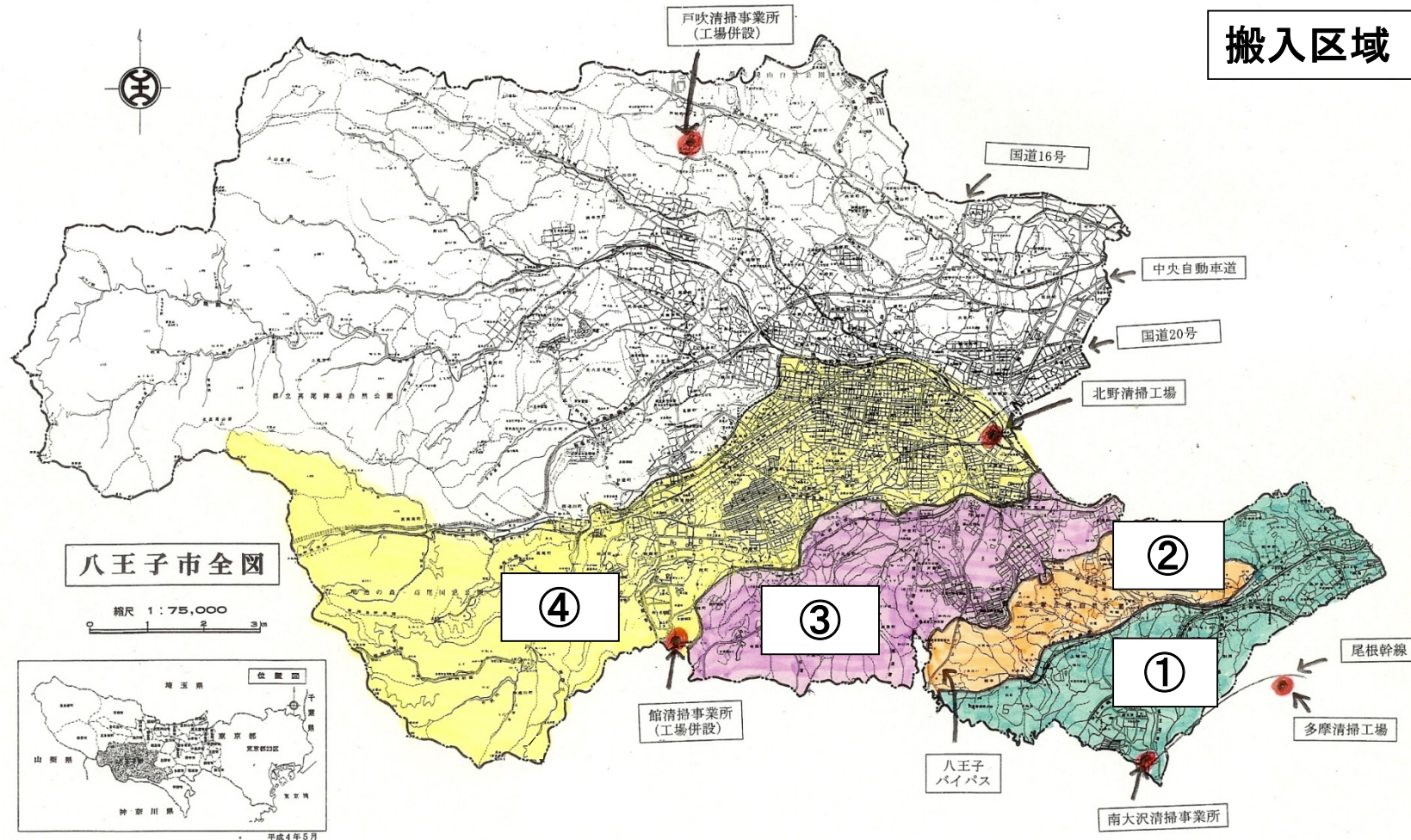
具体的には・・・

- ① 実施時期：平成22年10月から
- ② 搬入対象物：家庭系可燃ごみ
- ③ 年間搬入量：平成22年度⇒6,000t 平成23年度以降⇒12,000t
- ④ 搬入区域：次ページ参照
- ⑤ 搬入ルート：尾根幹線
- ⑥ 搬入車両台数：平均 34台／日 最大 月曜日 70台／日

	運行車両総台数 (台/日)	清掃車 (台/日)	混入率 (%)
平成20年度調査結果	11,876	110	0.93
八王子市からの12,000t搬入後の予測 (月曜日として)	11,946	180	1.51

- ⑦ 処理人口：約8万2千人
- ⑧ 実施協定：処理区域拡大における実施協定書の策定。協定期間は3年で見直し

搬入区域



①	多摩清掃工場の従来エリア	
②	上柚木・下柚木・鏈水・中山・南陽台・堀之内	100%搬入区域
③	長沼町・絹ヶ丘・北野台・打越町・片倉町・西片倉・兵衛・宇津貫町 みなみ野・七国・寺田・大船・小比企、館（一部）	3回収集のうち 2回分搬入区域
②+③+④	八王子市館清掃事業所（工場併設）の現行収集エリア	

3. 構成3市及び組合について

(1) 構成3市間でのごみ処理の広域連携の強化

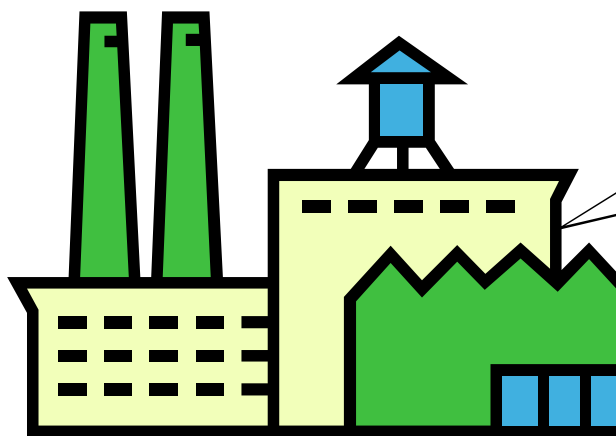


- ⇒ 建替え時の相互支援
建替え計画のスムーズな進捗
- ⇒ 既存施設、計画される施設の
広域的な相互有効利用の促進



広域連携の強化

平成22年度: 6,000t搬入
平成23年度以降: 12,000t搬入



稼動から
10年経過

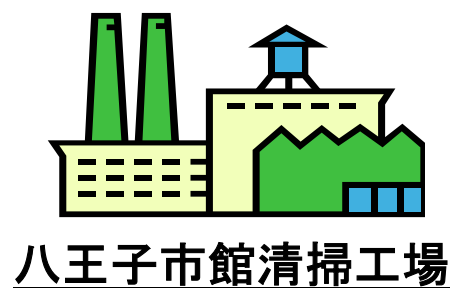
町田市ごみ処理基本計画が
策定されたあと受け入れを実施予定

多摩清掃工場

連携の強化が重要

相互協力

相互協力

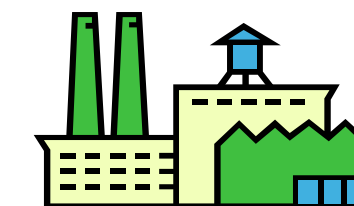


八王子市館清掃工場

プラント設備の耐用年数
30年～

工場の建設計画
から竣工まで
約10年かかる

今から
10年位先には
課題となる。



町田市清掃工場

(2) 多摩清掃工場の安定稼働

焼却炉の年間定格能力 $200\text{t} \times 2\text{炉} \times 365\text{日} = 146,000\text{t}$

運転上の目安 $146,000\text{t} \times 0.75 = 109,500\text{t}$

$$\text{稼働率 (\%)} = \frac{\text{搬入量合計 (t)}}{146,000\text{t or } 109,500\text{t}}$$

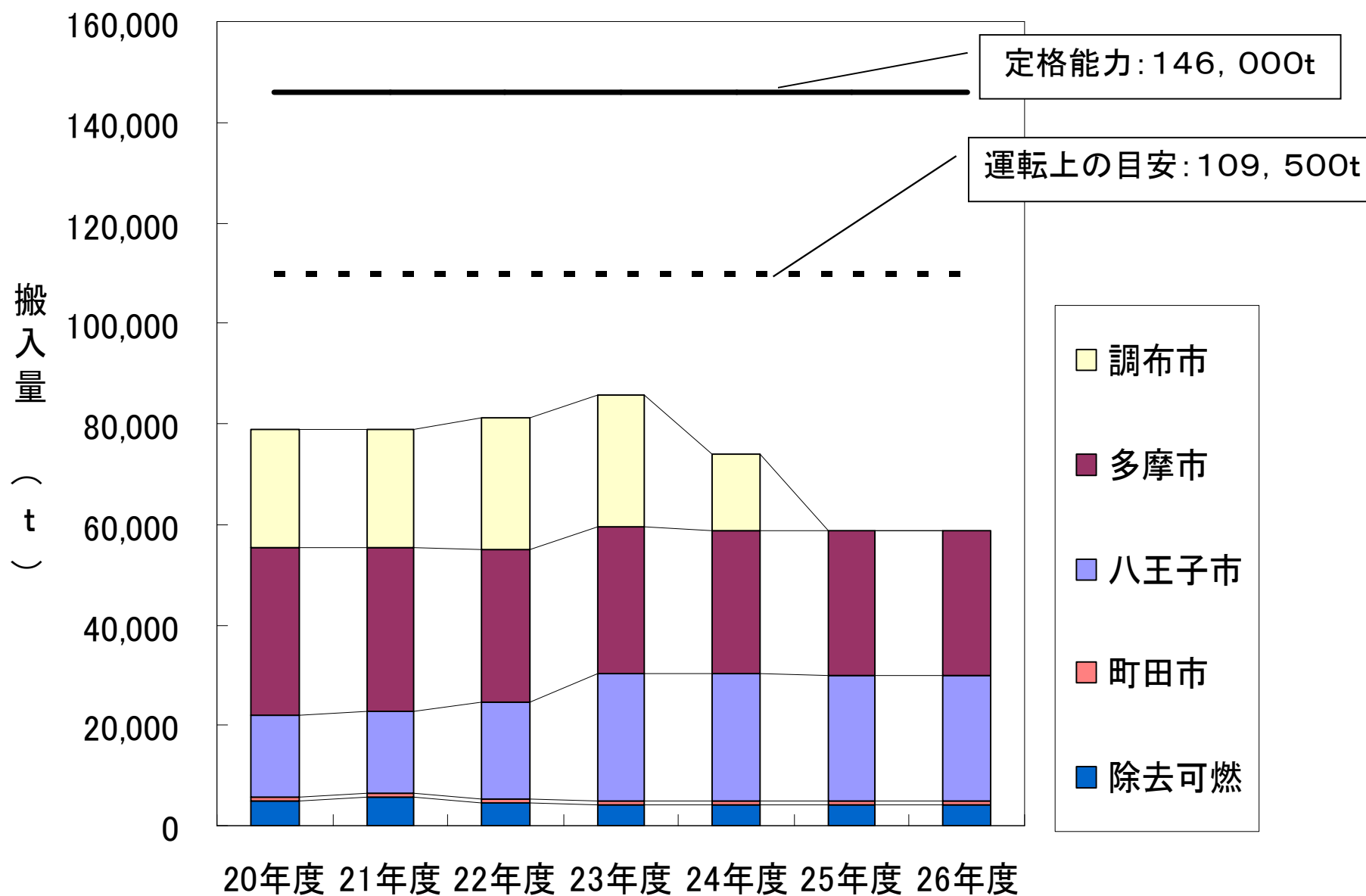
20年度:実績

21年度:4～10月実績、11～3月予測

22年度以降:予測

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
搬入量合計 (t)	78,745	79,011	80,952	85,710	74,061	58,771	58,717
定格能力での稼働率 (%)	54	54	55	59	51	40	40
運転上の目安での稼働率 (%)	72	72	74	78	68	54	54

搬入量合計の内訳: 多摩市・八王子市・町田市・調布市・除去可燃



安定的な稼働

12,000tを搬入することによって

☆ 売電収入の増加が期待されます。

売電収入は、約1,800万円の増収となり、
この半額は、施設整備基金として今後の長期修繕に使用予定



☆ ごみを1t処理することによる費用(ごみ処理単価)の低減が図れます。



4. 環境対策

排ガス、ダイオキシン類等の環境調査、環境対策を重視

ISO14001（環境マネジメントシステムの国際規格）に基づき、法令基準値より、低い自主規制運用値を設定

⇒ 平成20年度の環境測定値は、全項目で法令基準値・自主規制運用値以下を達成

地域の環境保全を最重要課題ととらえ、
「環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場」
をめざし今後も最善の努力を尽くします

⇒新たに、ダイオキシン類等については、排ガス流通経路で、除去・分解性能の把握調査を実施。



ご清聴ありがとうございました。

多摩ニュータウン環境組合



TEL: 042-374-6331

FAX: 042-337-5061